

日本史 B 休校中課題⑦ (5月22日～28日)

◎休校期間も長くなってきましたね…一方で各地では規制緩和が進んできました。学校再開はもうすぐなのでしょうか。

◎ということで今回の課題は、今までの課題の内容を、1学期(1学期と言っていいのかしら?)の授業内容と関連させた論述を出題します。予習内容になり難しいかもしれませんが、頑張りましょう。

◎今回の課題の意図も「教科書・資料集をよく読んでほしい」というものです。教科書を丸写しするのではなく、自分の言葉で書いてください。丸写しするくらいなら自分の言葉で書いて間違っているほうがよいです。ルーズリーフ等に□(1)…と記述しても構いませんし、このプリントを印刷しても構いません。印刷の紙の用紙の大きさも自由ですが、このプリントの大きさはA4という大きさです。

1教科書 p250 の 10 行目「異国船打払令を緩和していわゆる天保の薪水給与令を出し」とありますが、(1)「異国船打払令」とはどのような内容か、何に対するどのような命令かに着目して説明しましょう。

[]

(2) 天保の薪水給与令とはどのような内容か説明しましょう。

[]

(3) なぜ日本は「異国船打払令」を“緩和(=厳しさの程度を和らげること)”したのか、国内の様子と国外の様子に着目して論述しましょう。

※国内の様子は、江戸時代の改革や雄藩の活躍などを関連させて考えてみましょう。「国内」「国外」で分けても構いません。

[]

2 とうとう鎖国政策を終了させ開国することとなりましたが、(教科書 p251 の 17 行目～)

(1) 「日米和親条約」と「日米修好通商条約」の違いは何か考えましょう。

(なぜ和親条約を結んだのに、さらに修好通商条約の締結も要求(教科書 p252 15 行目)したのかに着目する)

[]

(2) 日米修好通商条約は、日本にとって不平等とされました。その理由を 2 点説明しましょう。

[]

3 日本が開国すると、国内の物価が上昇しました。海外と貿易をするとなぜ物価が上昇したのでしょうか。教科書 p253 以降を参考に、自分が分かるように論述しましょう。

[]